

(表1) レセプト電算処理システムの導入状況

	外来	入院(DPC)
導入済	58	13
予定	23	21
未定	19	64
回答なし	0	2

(件数)

(表2) DPCオーダーリングソフトおよびDPC医事システムのベンダー別使用状況

	DPCオーダー	医事
富士通	19	39
NEC	13	19
ニッセイ	13	
東芝住電	10	11
IBM	7	2
ハルレク	4	4
ソフトウェアサービス	3	4
日本ユニシス	1	2
マックスシステム	1	1
麻生情報システム	1	
国際疾病研究所	1	
プリズム	1	
インテック		5
ナイス		5
オーエムシー		2
独自開発	7	4
なし(紙ベース)	17	
未記入	2	2
計	100	100

(件数)

(表3) DPCLセプトのチェック状況

チェック方法	診断群分類番号 vs		診療関連情報 vs		必須入力事項
	「傷病名(副)」 ICDコード	「診療関連情報」 手術・処置の有無	「出来高部分」 手術・処置の有無	「出来高部分」 手術・処置	
①独自ソフト	5	6	2	2	6
②ペンダーソフト	33	20	15	15	35
③人	45	54	64	67	43
④チェックなし	1	1			1
⑤その他	2	2	2	2	2
①と②	1	1	1		1
①と③		1			
②と③	10	11	11	9	8
③と⑤			1		
①と②と③		1	1		
未記入	3	3	3	5	4

(件数)

(表4) 審査専門領域

審査専門領域	支払基金C		支払基金D		支払基金E		合計	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
内科	9	8.2%	8	11.1%	9	20.5%	26	11.5%
呼吸器内科	2	1.8%	0	0.0%	1	2.3%	3	1.3%
腎臓内科	2	1.8%	3	4.2%	2	4.5%	7	3.1%
消化器内科	6	5.5%	3	4.2%	1	2.3%	10	4.4%
血液内科	4	3.6%	1	1.4%	0	0.0%	5	2.2%
循環器内科	5	4.5%	5	6.9%	0	0.0%	10	4.4%
神経内科	4	3.6%	1	1.4%	1	2.3%	6	2.7%
感染症	2	1.8%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.9%
小児科	7	6.4%	4	5.6%	0	0.0%	11	4.9%
精神神経科	3	2.7%	3	4.2%	2	4.5%	8	3.5%
放射線科	1	0.9%	2	2.8%	0	0.0%	3	1.3%
皮膚科	4	3.6%	4	5.6%	2	4.5%	10	4.4%
外科	20	18.2%	7	9.7%	9	20.5%	36	15.9%
脳外科	2	1.8%	4	5.6%	3	6.8%	9	4.0%
胸部外科	8	7.3%	5	6.9%	1	2.3%	14	6.2%
小児外科	1	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.4%
整形外科	6	5.5%	6	8.3%	4	9.1%	16	7.1%
産婦人科	5	4.5%	3	4.2%	1	2.3%	9	4.0%
形成外科	1	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.4%
眼科	5	4.5%	3	4.2%	3	6.8%	11	4.9%
耳鼻科	5	4.5%	4	5.6%	4	9.1%	13	5.8%
泌尿器科	5	4.5%	4	5.6%	1	2.3%	10	4.4%
麻酔科	1	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.4%
救急医学科	1	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.4%
未記入	1	0.9%	2	2.8%	0	0.0%	3	1.3%
	110	100%	72	100%	44	100%	226	100%

(表5) 審査委員年齢構成

	支払基金C		支払基金D		支払基金E		合計	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
30歳代	0	0.0%	2	2.8%	0	0.0%	2	0.9%
40歳代	28	25.5%	17	23.6%	9	20.5%	54	23.9%
50歳代	48	43.6%	32	44.4%	18	40.9%	98	43.4%
60歳代	30	27.3%	20	27.8%	10	22.7%	60	26.5%
70歳代	2	1.8%	0	0.0%	7	15.9%	9	4.0%
不明	2	1.8%	1	1.4%	0	0.0%	3	1.3%
平均年齢±SD	55.4±7.20		54.5±7.60		57.3±9.16		55.5±7.78	

(表6) 審査委員歴

	支払基金C		支払基金D		支払基金E		合計	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
2年未満	10	9.1%	10	13.9%	7	15.9%	27	11.9%
2～5年	39	35.5%	36	50.0%	15	34.1%	90	39.8%
6～10年	32	29.1%	11	15.3%	4	9.1%	47	20.8%
10年以上	28	25.5%	15	20.8%	17	38.6%	60	26.5%
記入なし	1	0.9%	0	0.0%	1	2.3%	2	0.9%

(表7) 審査委員の所属医療機関

医療機関種別	支払基金C		支払基金D		支払基金E		合計	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
DPC対象病院	32	29.1%	23	31.9%	12	27.3%	67	29.6%
DPC試行的適用病院	4	3.6%	10	13.9%	5	11.4%	19	8.4%
非DPC病院	55	50.0%	24	33.3%	12	27.3%	91	40.3%
開業(診療所)	12	10.9%	12	16.7%	11	25.0%	35	15.5%
常勤審査委員	2	1.8%	0	0.0%	2	4.5%	4	1.8%
その他	4	3.6%	3	4.2%	2	4.5%	9	4.0%
記入なし	1	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.4%

(表8) 1ヶ月に審査するDPCレセプト件数

	支払基金C		支払基金D		支払基金E		合計	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
1~50件	27	24.5%	13	18.1%	17	38.6%	57	25.2%
51~100件	33	30.0%	18	25.0%	9	20.5%	60	26.5%
100~150件	16	14.5%	10	13.9%	1	2.3%	27	11.9%
151~200件	11	10.0%	6	8.3%	2	4.5%	19	8.4%
201件以上	23	20.9%	22	30.6%	12	27.3%	57	25.2%
記入なし	0	0.0%	3	4.2%	3	6.8%	6	2.7%

(表9) 審査委員のDPC理解度

	支払基金C		支払基金D		支払基金E		合計	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
よく理解できている	33	30.0%	15	20.8%	12	27.3%	60	26.5%
少し理解できている	56	50.9%	42	58.3%	25	56.8%	123	54.4%
あまり理解できていない	19	17.3%	14	19.4%	6	13.6%	39	17.3%
全く理解できていない	0	0.0%	1	1.4%	1	2.3%	2	0.9%
どちらとも言えない	2	1.8%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.9%
記入なし	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

(表10) DPCレセプトの記入漏れ・記入ミス率(審査委員の印象)

	支払基金C		支払基金D		支払基金E		合計	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
0%	2	1.8%	0	0.0%	1	2.3%	3	1.3%
1~10%	67	60.9%	50	69.4%	27	61.4%	144	63.7%
11~20%	26	23.6%	14	19.4%	9	20.5%	49	21.7%
21~30%	6	5.5%	3	4.2%	1	2.3%	10	4.4%
31~40%	0	0.0%	1	1.4%	0	0.0%	1	0.4%
41%以上	2	1.8%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.9%
記入なし	7	6.4%	4	5.6%	6	13.6%	17	7.5%

(表11) DPCLセプトの情報量

	支払基金C		支払基金D		支払基金E		合計	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
十分である	4	3.6%	3	4.2%	2	4.5%	9	4.0%
まずまず満たしている	36	32.7%	34	47.2%	18	40.9%	88	38.9%
やや不足	37	33.6%	21	29.2%	7	15.9%	65	28.8%
かなり不足	27	24.5%	11	15.3%	5	11.4%	43	19.0%
どちらともいえない	5	4.5%	2	2.8%	7	15.9%	14	6.2%
記入なし	1	0.9%	1	1.4%	5	11.4%	7	3.1%

(表12) DPCLセプトの記載可能病名数

	支払基金C		支払基金D		支払基金E		合計	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
十分である	54	49.1%	47	65.3%	25	56.8%	126	55.8%
足りない	50	45.5%	21	29.2%	11	25.0%	82	36.3%
どちらでもない	1	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.4%
記入なし	5	4.5%	4	5.6%	8	18.2%	17	7.5%

(表13) DPC審査状況

	支払基金C		支払基金D		支払基金E		合計	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
十分審査出来ている	7	6.4%	5	6.9%	2	4.5%	14	6.2%
まずまず出来ている	59	53.6%	42	58.3%	21	47.7%	122	54.0%
やや不十分である	27	24.5%	20	27.8%	10	22.7%	57	25.2%
全く不十分である	6	5.5%	1	1.4%	0	0.0%	7	3.1%
どちらとも言えない	6	5.5%	3	4.2%	5	11.4%	14	6.2%
記入なし	5	4.5%	1	1.4%	6	13.6%	12	5.3%

(表14) DPC審査の個人差

	支払基金C		支払基金D		支払基金E		合計	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
ある	25	22.7%	23	31.9%	12	27.3%	60	26.5%
ない	32	29.1%	17	23.6%	9	20.5%	58	25.7%
どちらとも言えない	48	43.6%	31	43.1%	19	43.2%	98	43.4%
記入なし	5	4.5%	1	1.4%	4	9.1%	10	4.4%

(表15) DPC審査に関するガイドラインの必要性

	支払基金C		支払基金D		支払基金E		合計	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
①絶対に必要	24	21.8%	13	18.1%	3	6.8%	40	17.7%
②有る方が良い	71	64.5%	49	68.1%	26	59.1%	146	64.6%
③無くてもかまわない	8	7.3%	9	12.5%	10	22.7%	27	11.9%
④必要ない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑤どちらでも良い	3	2.7%	0	0.0%	1	2.3%	4	1.8%
記入なし	4	3.6%	1	1.4%	4	9.1%	9	4.0%

(表16) DPC審査ガイドラインの公表の必要性

	支払基金C		支払基金D		支払基金E		合計	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
①公表すべき	55	50.0%	40	55.6%	17	38.6%	112	49.6%
②公表すべきではない	27	24.5%	11	15.3%	8	18.2%	46	20.4%
③どちらとも言えない	23	20.9%	20	27.8%	15	34.1%	58	25.7%
記入なし	5	4.5%	1	1.4%	4	9.1%	10	4.4%

データベース構築に関する研究及び OLAP システムの開発研究
DPC ポートフォリオ： 死亡率についての基礎的集計（H15 データ、全施設）
石川ベンジャミン光一（国立がんセンター研究所がん情報研究部）

1. 対象

H15 年度調査データに、H16 支払い分類を適用したもの。対象施設は全施設。

注：データ提出施設中には、死亡数=0 の施設が 2、死亡率=0.06% の施設が 1 含まれている。

2. 死亡率の計算方法について

2.1. 粗死亡率

$$\text{粗死亡率(\%)} = \frac{\text{当該施設の死亡数}}{\text{当該施設の症例数}} \times 100$$

2.2. SMR（標準化死亡比）

$$\text{標準化死亡比(SMR)} = \frac{\text{当該施設の死亡数}}{\sum \text{当該施設のDPC分類症例数} \times \text{全施設でのDPC分類死亡率}} \times 100$$

注：SMR の計算では、標準ケースミックスの仮定は不要。

2.3. 今後検討が必要なもの

2.3.1. DPC 調整死亡率（直接法）

$$\text{DPC調整死亡率(直接法)} = \frac{\sum \text{当該施設の死亡率} \times \text{標準ケースミックスの症例数}}{\sum \text{標準ケースミックスのDPC分類} \times \text{標準ケースミックスの症例数}}$$

注：標準ケースミックスを仮定する必要がある。

3. 計算パターンについて

3.1. 全分類を使用した場合

3.2. DPC 分類のサブセットを使用した場合

3.2.1. DPC14 桁別粗死亡率

症例数の多いものから top500 分類について計算済み、グラフ作成済み（症例数・粗死亡率）。

別途 CD-ROM にて配布予定

3.2.2. MDC 別粗死亡率、SMR

未計算

3.2.3. ICD10 大分類別死亡率、SMR

医療資源を最も投入した傷病名に ICD10 の大分類を割り当てることにより、DPC 6 桁分類を区分したものの。なお、DPC 6 桁分類は複数の ICD10 大分類に重複して計上されることがある。

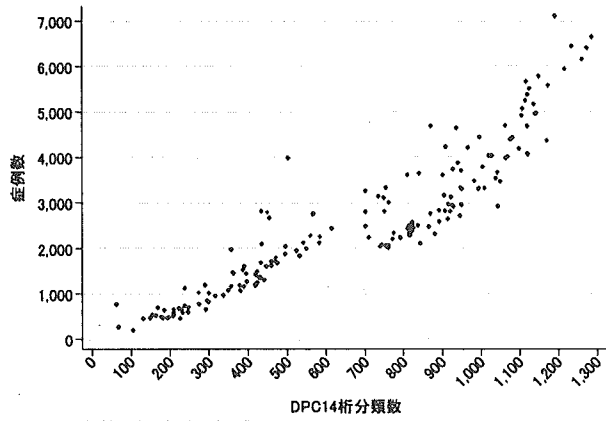
(1) 新生物（C00-D48）

(2) 循環器（I00-I99）

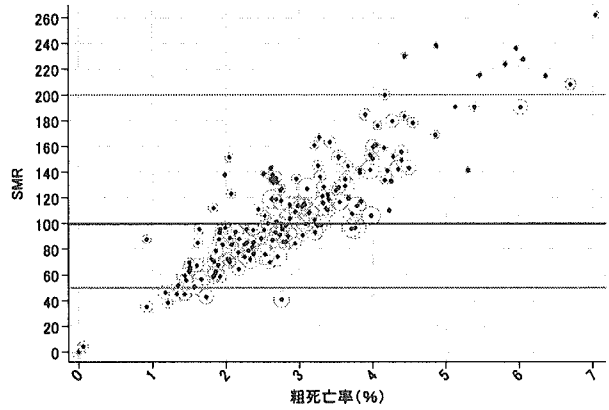
outlier となる国立がんセンター中央病院を対象とするか否かにより 2 パターン。

4. 計算結果

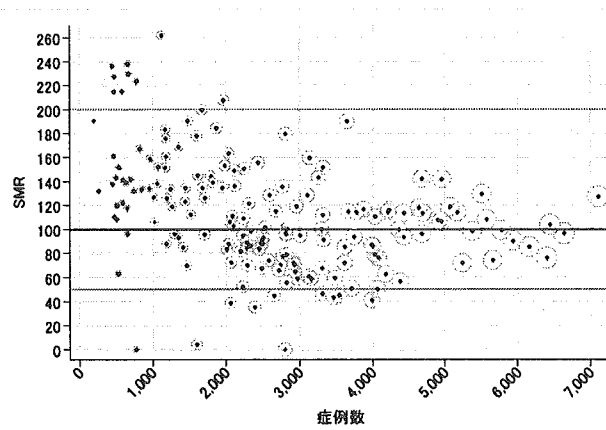
4.1. 全分類を使用した場合



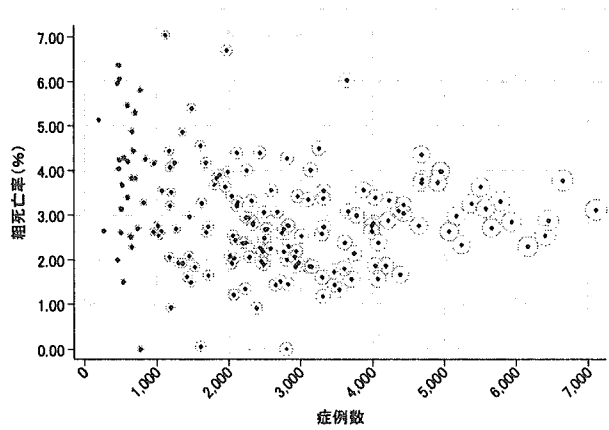
特定=赤、民間=青、全社連=緑、国立5=橙、国立10=紫



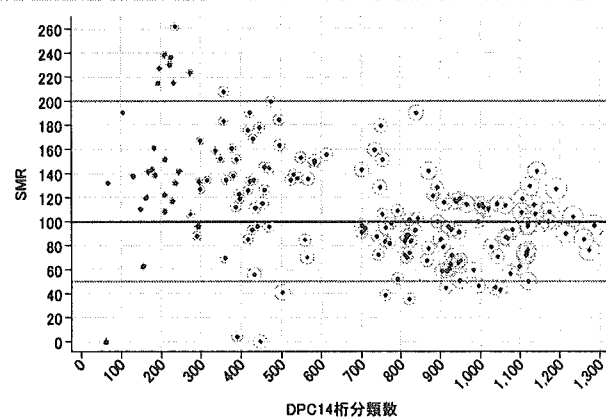
DPC14析分類による標準化死亡率比(SMR)
特定=赤、民間=青、全社連=緑、国立5=橙、国立10=紫



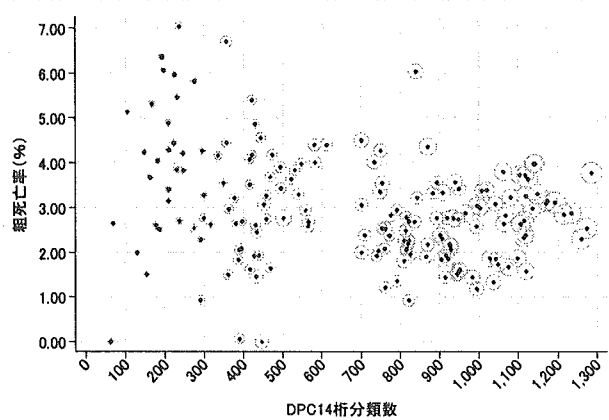
DPC14析分類による標準化死亡率比(SMR)
特定=赤、民間=青、全社連=緑、国立5=橙、国立10=紫



粗死亡率
特定=赤、民間=青、全社連=緑、国立5=橙、国立10=紫

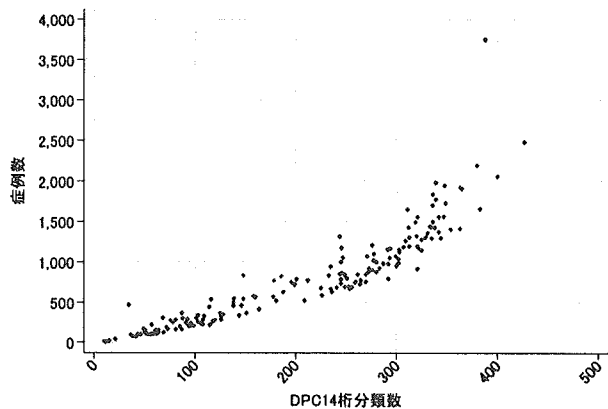


DPC14析分類による標準化死亡率比(SMR)
特定=赤、民間=青、全社連=緑、国立5=橙、国立10=紫

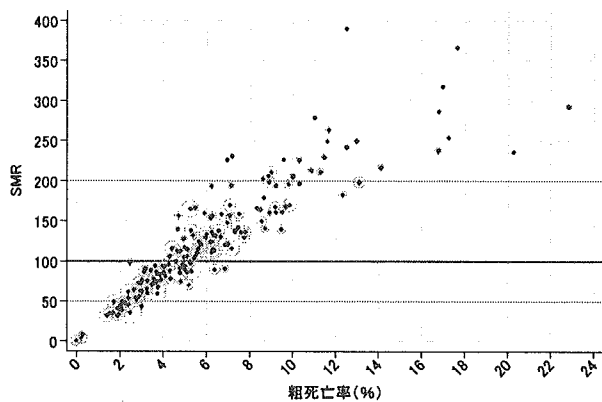


粗死亡率
特定=赤、民間=青、全社連=緑、国立5=橙、国立10=紫

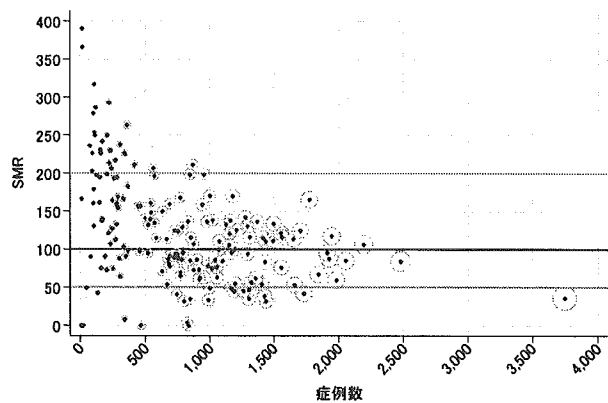
4.2. 新生物



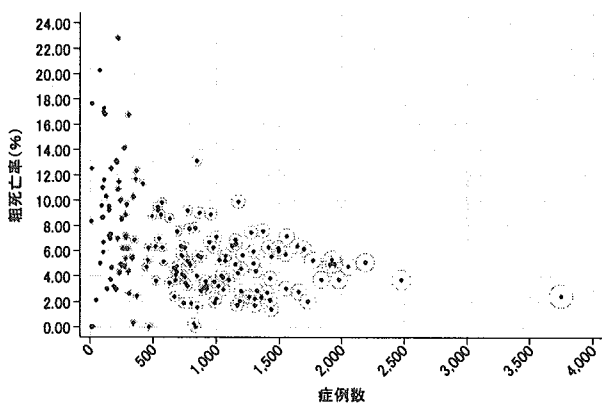
02悪性新生物
特定=赤、民間=青、全社連=緑、国立5=橙、国立10=紫



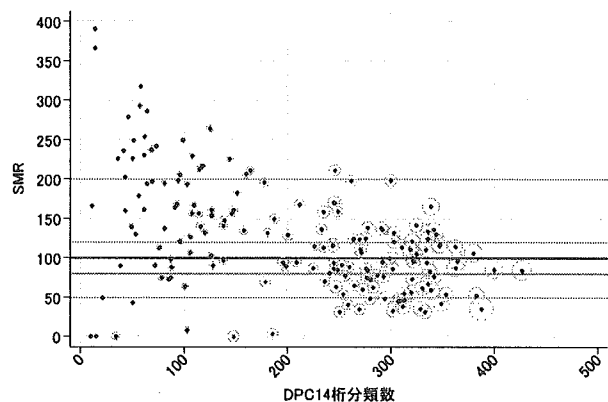
02悪性新生物
DPC14桁分類数による標準化死亡率比(SMR)
特定=赤、民間=青、全社連=緑、国立5=橙、国立10=紫



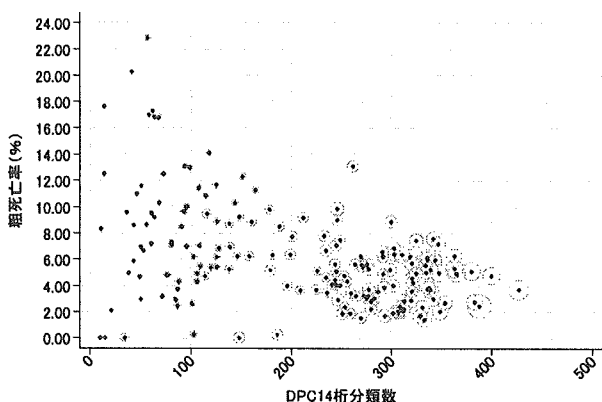
02悪性新生物
DPC14桁分類数による標準化死亡率比(SMR)
特定=赤、民間=青、全社連=緑、国立5=橙、国立10=紫



02悪性新生物
粗死亡率
特定=赤、民間=青、全社連=緑、国立5=橙、国立10=紫



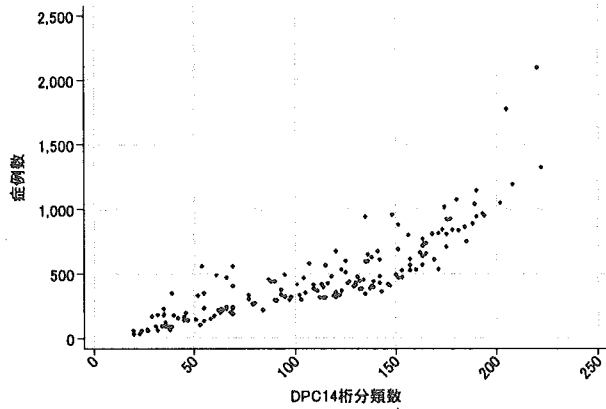
02悪性新生物
DPC14桁分類数による標準化死亡率比(SMR)
特定=赤、民間=青、全社連=緑、国立5=橙、国立10=紫



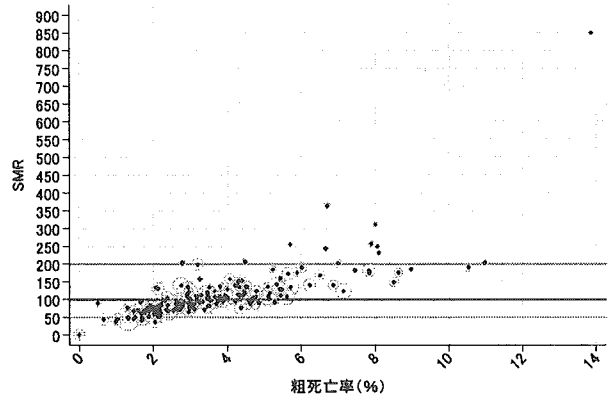
02悪性新生物
粗死亡率
特定=赤、民間=青、全社連=緑、国立5=橙、国立10=紫

4.3. 循環器

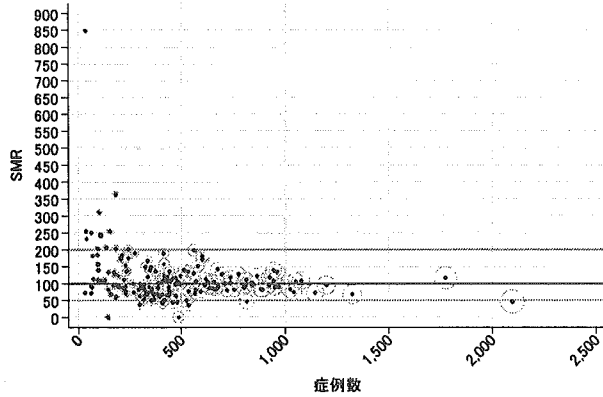
4.3.1. 全施設



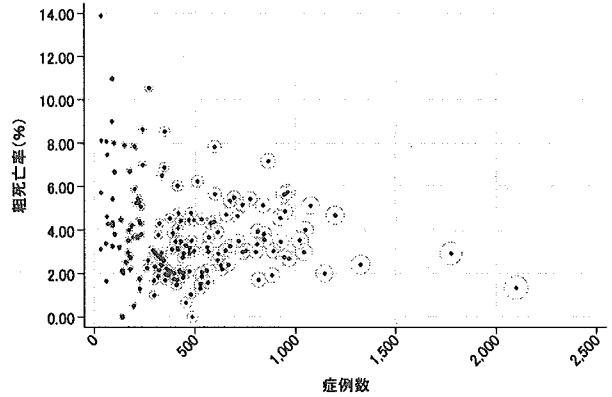
09循環器
特定=赤、民間=青、全社通=緑、国立5=橙、国立10=紫



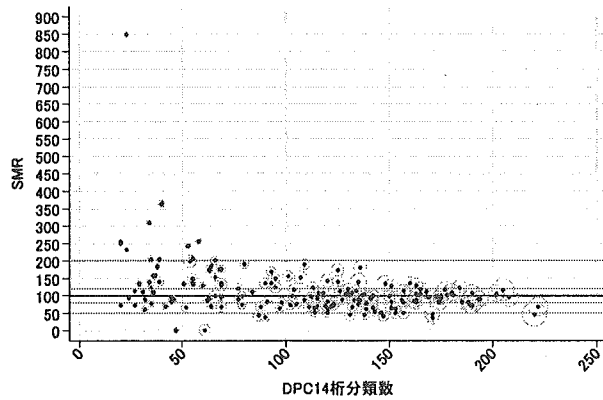
09循環器
DPC14析分類による標準化死亡率(SMR)
特定=赤、民間=青、全社通=緑、国立5=橙、国立10=紫



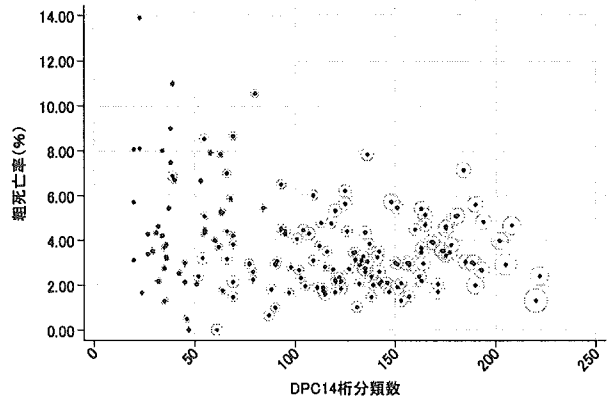
09循環器
DPC14析分類による標準化死亡率(SMR)
特定=赤、民間=青、全社通=緑、国立5=橙、国立10=紫



09循環器
粗死亡率
特定=赤、民間=青、全社通=緑、国立5=橙、国立10=紫

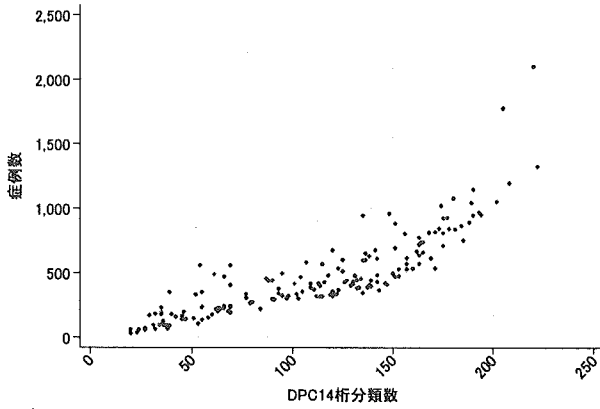


09循環器
DPC14析分類による標準化死亡率(SMR)
特定=赤、民間=青、全社通=緑、国立5=橙、国立10=紫

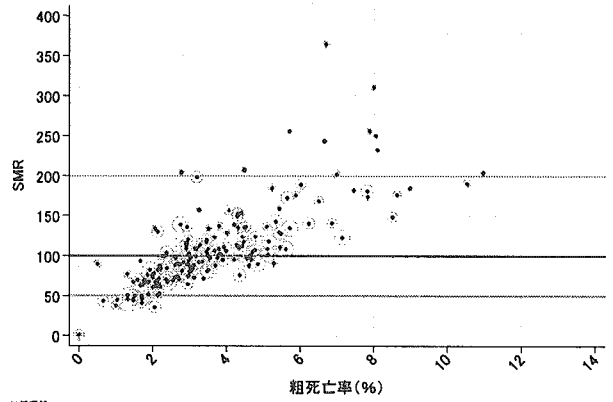


09循環器
粗死亡率
特定=赤、民間=青、全社通=緑、国立5=橙、国立10=紫

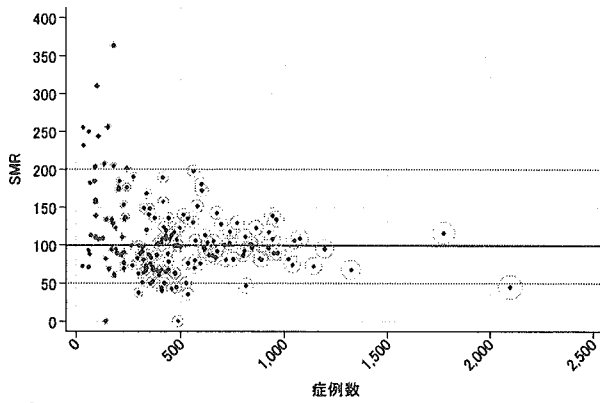
4.3.2. outlier 施設を除く



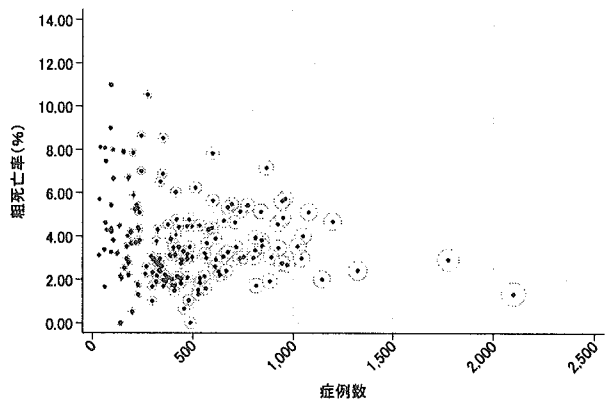
09年度補
特定=赤、民間=青、全社連=緑、国立5=橙、国立10=紫



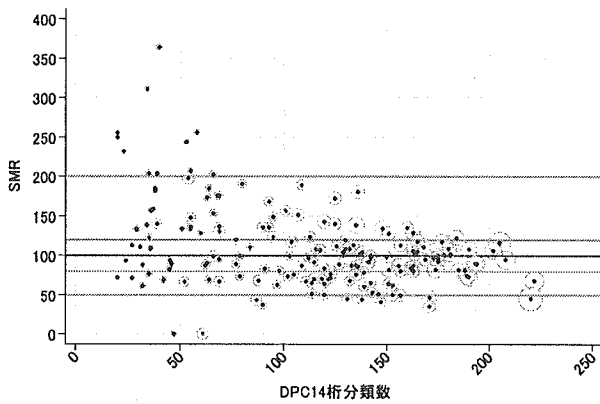
09年度補
DPC14析分類による標準化死亡率(SMR)
特定=赤、民間=青、全社連=緑、国立5=橙、国立10=紫



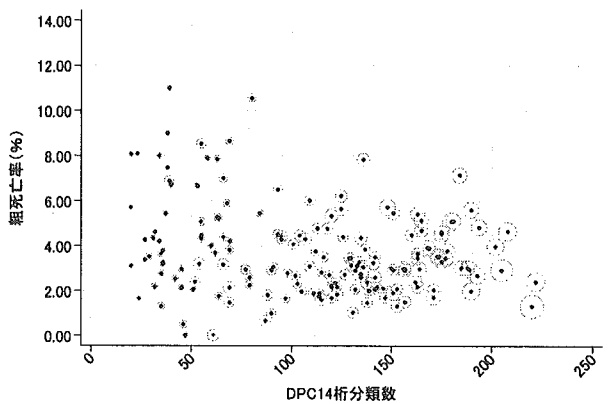
09年度補
DPC14析分類による標準化死亡率(SMR)
特定=赤、民間=青、全社連=緑、国立5=橙、国立10=紫



09年度補
粗死亡率
特定=赤、民間=青、全社連=緑、国立5=橙、国立10=紫



09年度補
DPC14析分類による標準化死亡率(SMR)
特定=赤、民間=青、全社連=緑、国立5=橙、国立10=紫

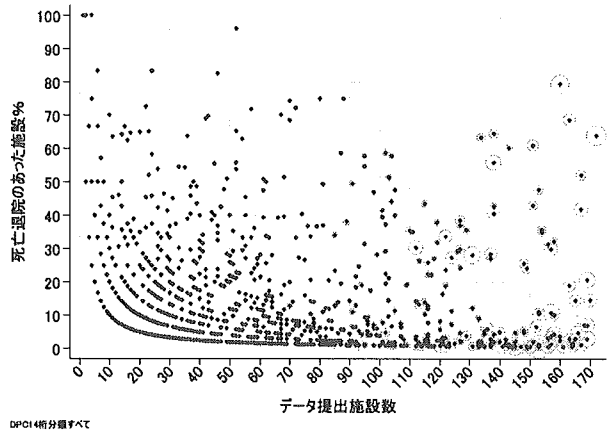
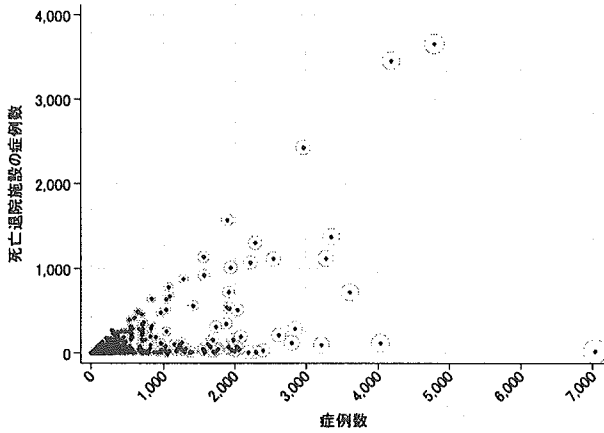


09年度補
粗死亡率
特定=赤、民間=青、全社連=緑、国立5=橙、国立10=紫

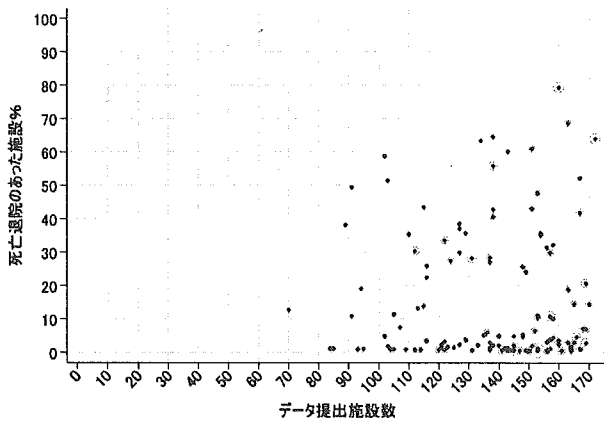
5. Sentinel DPC14 について

死亡率データを見ていると、限られた施設でのみ死亡が観察されている DPC14 桁分類が存在している。これについて、追加でデータを確認してみた。

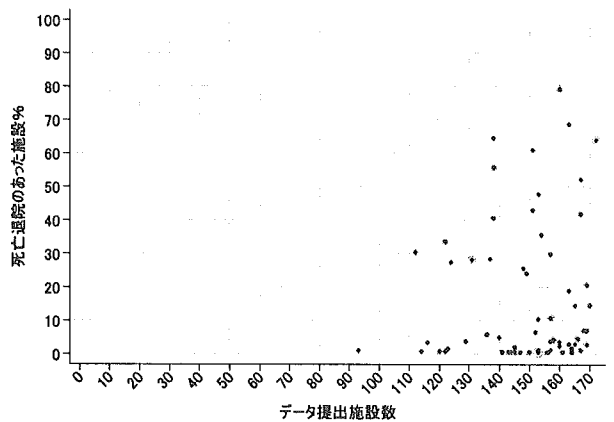
A 3 の参考資料は、500 症例以上の DPC14 桁分類で、死亡症例のあった施設が 1/4 以下であったもののリスト



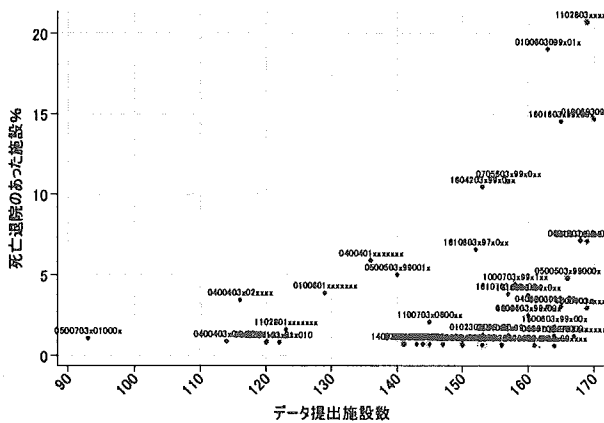
DPC14桁分類すべて



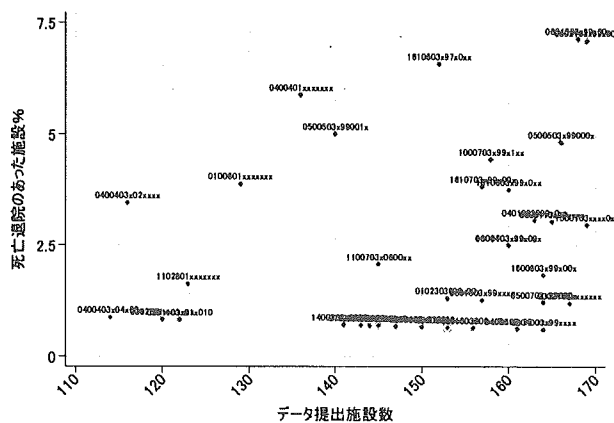
500例以上のDPC14桁分類



1,000例以上のDPC14桁分類



1,000例以上のDPC14桁分類



1,000例以上のDPC14桁分類

死亡施設%順

DPC14	Dx	≧500例		≦25%		死亡あり施設について再掲				
		症例数	死亡なし施設死亡あり施設	死亡施設%	死亡数	粗死亡率	施設死亡率	死亡施設症例数	死亡施設症例%	
0100603099x10x	脳梗塞(JCS30未満)	1425	113	36	24.2	46	3.2%	556	8.3%	39.0%
1102803xxxx0xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全	3280	134	35	20.7	57	1.7%	1119	5.1%	34.1%
0100603099x01x	脳梗塞(JCS30未満)	1892	132	31	19.0	42	2.2%	540	7.8%	28.5%
0600103x99x20x	食道の悪性腫瘍(頸部を含む)	556	90	26	22.4	35	6.3%	231	15.2%	41.5%
0100603099x00x	脳梗塞(JCS30未満)	2038	145	25	14.7	29	1.4%	509	5.7%	25.0%
1601603x99x00x	敗血症(その他の感染症)	1884	141	24	14.5	27	1.4%	345	7.8%	18.3%
1102803xxxx2xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全	551	76	18	19.1	23	4.2%	168	13.7%	30.5%
0705603x99x0xx	全身性臓器障害を伴う自己免疫性疾患	3611	140	17	10.8	19	0.5%	714	2.7%	19.8%
1003803x99xxxx	体液量減少症(検査入院を除く)	745	136	17	11.1	17	2.3%	154	11.0%	20.7%
1103203099xxxx	腎、泌尿器の疾患(その他)(6歳以上)	894	142	16	10.1	19	2.1%	188	10.1%	21.0%
1604203x99x0xx	頭部・顔面外傷	1741	137	16	10.5	17	1.0%	310	5.5%	17.0%
0601203x07x01x	門脈圧亢進症(食道、胃、消化管の静脈瘤を含む)	699	99	16	13.9	17	2.4%	153	11.1%	21.9%
0600503x05x10x	肝・胆内胆管の悪性腫瘍(統発性を含む)	819	98	15	13.3	19	2.3%	194	9.8%	23.7%
0602103x99x00x	ヘルニアの記載のない腸閉塞	2612	157	12	7.1	13	0.5%	211	6.2%	8.1%
0601303x99x00x	食道、胃、十二指腸、他腸の炎症(その他(良性疾患))	2082	156	12	7.1	12	0.6%	193	6.2%	9.5%
0600503x05x01x	肝・胆内胆管の悪性腫瘍(統発性を含む)	707	93	12	11.4	12	1.7%	244	4.9%	34.5%
1610603x97x0xx	詳細不明の損傷等	1699	142	10	6.6	10	0.6%	153	6.5%	9.0%
0700453x99x1xx	黒色腫	522	81	10	11.0	11	2.1%	81	13.6%	15.5%
1200103x99x11x	卵巣・子宮付属器の悪性腫瘍	511	61	9	12.9	10	2.0%	34	29.4%	6.7%
0500503x99000x	狭心症、慢性虚血性心疾患	2845	158	8	4.8	17	0.6%	284	6.0%	10.0%
0603453x99x00x	胆管炎	673	140	8	5.4	9	1.3%	77	11.7%	11.4%
0400401xxxxxxx	肺の悪性腫瘍(検査入院)	1979	128	8	5.9	12	0.6%	155	7.7%	7.8%
0501703x010xxxx	閉塞性動脈疾患	508	99	8	7.5	10	2.0%	64	15.6%	12.6%
1000703x99x1xx	2型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く)	2797	151	7	4.4	8	0.3%	117	6.8%	4.2%
0402003x99x00x	気胸	651	141	7	4.7	8	1.2%	46	17.4%	7.1%
1300903x99x0xx	貧血(その他)	549	138	7	4.8	8	1.5%	51	15.7%	9.3%
0500503x99001x	狭心症、慢性虚血性心疾患	1153	133	7	5.0	9	0.8%	101	8.9%	8.8%
1608003x02xx0x	股関節大腿近位骨折	811	128	7	5.2	7	0.9%	54	13.0%	6.7%
1610603x99x0xx	詳細不明の損傷等	1228	154	6	3.8	6	0.5%	91	6.6%	7.4%
1610703x99x00x	薬物中毒(その他の中毒)	1262	151	6	3.8	6	0.5%	124	4.8%	9.8%
1500103xxxx0xx	ウイルス性腸炎	3214	164	5	3.0	5	0.2%	95	5.3%	3.0%
0800113x99xxxx	急性腫皮症	1661	160	5	3.0	5	0.3%	80	6.3%	4.8%
0401003099x0xx	喘息(15歳以上)	1318	158	5	3.1	5	0.4%	49	10.2%	3.7%
1103103x99xxxx	腎臓の感染症	969	151	5	3.2	5	0.5%	113	4.4%	11.7%
0100601xxxxxxx	脳梗塞(検査入院)	1251	124	5	3.9	5	0.4%	56	8.9%	4.5%
1600603x99x1xx	精神、行動の障害(教育入院を除く)	820	97	5	4.9	8	1.0%	97	8.2%	11.8%
0601403x99x00x	胃十二指腸潰瘍、胃憩室症、幽門狭窄	1032	156	4	2.5	5	0.5%	78	6.4%	7.6%
1000703x99x00x	2型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く)	1630	156	4	2.5	4	0.2%	103	3.9%	6.3%
0601303x99x01x	食道、胃、十二指腸、他腸の炎症(その他(良性疾患))	544	133	4	2.9	4	0.7%	23	17.4%	4.2%
0600353x01x00x	大腸(上行結腸からS状結腸)の悪性腫瘍	536	118	4	3.3	4	0.7%	35	11.4%	6.5%
0400403x02xxxx	肺の悪性腫瘍	1209	112	4	3.4	5	0.4%	66	7.6%	5.5%
1600603x99x00x	精神、行動の障害(教育入院を除く)	1037	161	3	1.8	3	0.3%	13	23.1%	1.3%
0710303x99xxxx	その他の筋骨格系・結合組織の疾患	148	148	3	2.0	3	0.4%	8	37.5%	1.1%
0603353x99x00x	胆嚢水腫、胆嚢炎等	507	142	3	2.1	3	0.8%	22	13.6%	4.3%
1100703x0600xx	膀胱腫瘍	1911	142	3	2.1	3	0.2%	67	4.5%	3.5%
0501403x99xxxx	高血圧性疾患(臓器障害なし)	554	137	3	2.1	5	0.9%	52	9.6%	9.4%
1102603xxxx0xx	ネフローゼ症候群	761	135	3	2.2	4	0.5%	14	28.6%	1.8%
0600203x02x10x	胃の悪性腫瘍	515	130	3	2.3	5	1.0%	7	71.4%	1.4%

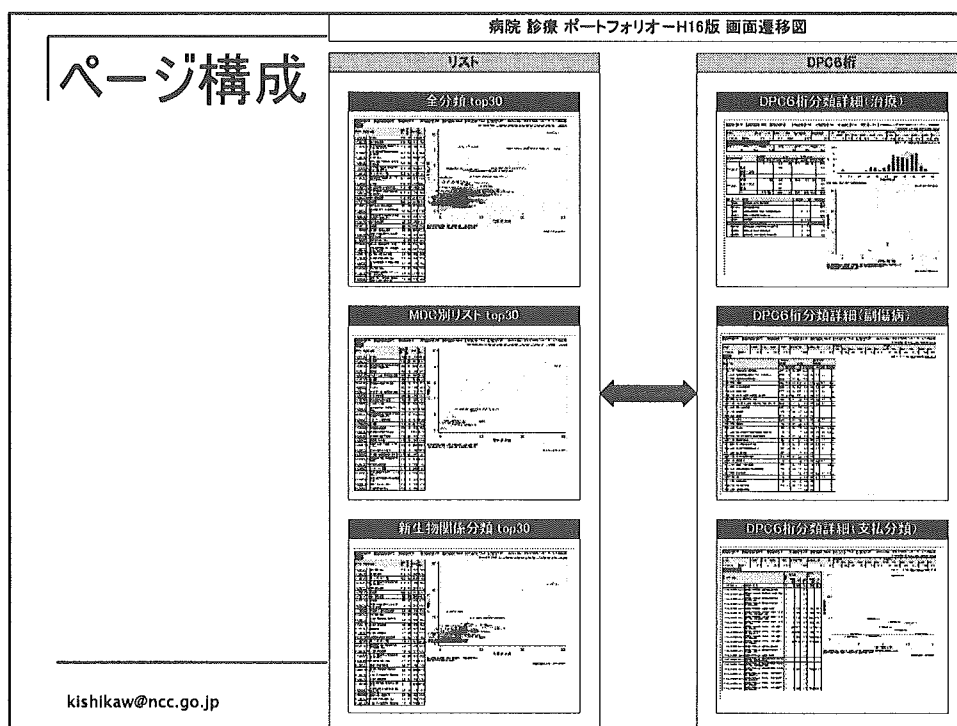
病院診療ポートフォリオ

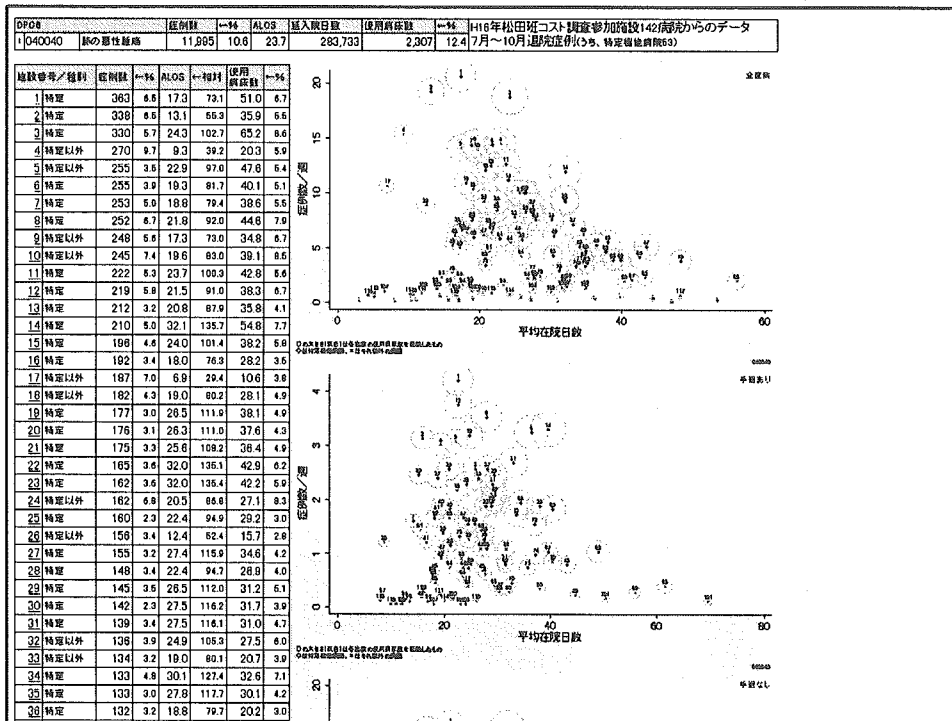
- DPC調査データを、制度改善だけでなく、各施設の改善にも役立てていただくための資料
- DPC松田班コスト調査に参加された施設に対して提供するもの
- 内容
 - H16コスト調査参加施設データ、H16支払いDPC分類
 - DPC6桁分類(疾患別)、手術の有無別
 - 症例数、使用病床数+術式、副傷病+支払い分類
 - 本年度中に研究成果としてフィードバックする予定
- 2つのバージョン
 - 施設を匿名化した参照データと、施設別の評価用データ

kishikaw@ncc.go.jp

病院診療ポートフォリオの概観

1





↑ DPC6 桁別施設リスト

- 症例数の多い順に施設をリスト
 - 症例数、平均在院日数、使用病床数
- 印刷報告書では、top10のみに限定(ページ数の都合)
- pdf版では10症例(/4ヶ月)以上の施設全て

施設ID: 040040-001		施設種別: 特定		H16松田附コスト調査参加施設データ/7月~10月通院症例																			
DPC6	症別群	件数	ALOS	平均日	延入期日数	使用料床数	平均	手術あり								手術なし							
								手術あり	手術なし	ALOS	平均	手術あり	手術なし	ALOS	平均	手術あり	手術なし	ALOS	平均				
1040040	尿の悪性腫瘍	363	6.5	73.1	6,277	51.0	6.7	74	204	22.6	86.4	13.6	26.7	289	79.6	15.9	69.1	37.4	73.3				
DPC6						040040-				040040-													
040040		本施設		全施設		本施設		全施設		本施設		全施設		本施設		全施設		本施設		全施設			
		件数	ALOS	平均日	延入期日数	手術あり	手術なし	手術あり	手術なし	手術あり	手術なし	手術あり	手術なし	手術あり	手術なし	手術あり	手術なし	手術あり	手術なし	手術あり	手術なし		
1160220	その他の悪性腫瘍	32.0	13.2	18.7	17.7	8.8	8.8	1.7	1.7														
2050140	高血圧性脳症(脳脊髄液減少)	11.0	9.8	2.6	14.7	13.7	1.0																
3080140	胃十二指腸潰瘍(胃腸静脈、腸門静脈)	23.4	12.9	10.6	12.3	7.9	4.4																
4060130	虫注、腎、十二指腸、腸胸の炎症(その他良性腫瘍)	16.0	12.7	3.3	10.2	6.6	4.6																
6070040	骨髄腫の悪性腫瘍(骨髄腫特異的)	10.2	8.0	2.2	8.2	7.1	1.1	7.1															
8060580	脳神経	11.8	5.2	6.6	8.0	3.9	4.1																
7010010	脳腫瘍	10.5	8.8	1.7	7.7	6.6	1.2	8.2	6.1	2.0													
9010200	脳神経腫	8.3	5.0	3.3	7.1	3.9	3.2																
1010070	脳腫瘍(脳脊髄液減少症/外アノシス除外)	7.4	7.4		6.9	6.7	0.2	3.1	3.1														
1004080	脳腫、急性脳炎、慢性脳炎、急性脳炎	7.7	4.1	3.6	6.9	3.2	3.7																
11040130	脳脊髄液減少(その他)	3.3	1.7	1.7	5.6	3.5	2.2																
12100300	神経性疾患(脳脊髄液減少)	4.4	3.9	0.6	5.6	5.0	0.6																
13050050	脳心症、慢性心不全、急性心不全	3.0	2.6	0.6	4.9	4.3	0.6	1.4	1.4														
14040120	脳神経腫瘍	3.9	2.2	1.7	4.9	4.6	0.2																
18050550	肝・胆管腫瘍の悪性腫瘍(後天性性を含む)	3.6	2.5	1.1	4.3	3.9	0.4	2.5	1.6	0.8													
16160080	脳腫、脳脊髄液減少	4.4	3.0	1.4	4.2	2.7	1.5																
17120070	脳脊髄液減少(その他)	4.1	0.6	3.6	4.0	0.6	3.4																
18040050	脳腫瘍、脳脊髄液減少	3.3	3.3		3.9	3.4	0.5																
19040040	脳脊髄液減少	3.3	3.0	0.3	3.8	3.6	0.3	3.3	3.0	0.3													
20040110	脳脊髄液減少	3.0	1.1	1.9	3.8	3.0	0.8	11.1	11.1														
21071030	その他の悪性腫瘍(脳脊髄液減少)	11.0	9.1	1.9	3.5	1.9	1.6																
22040100	脳腫	3.9	3.3	0.6	3.4	2.8	0.6																
23040090	下脳神経腫瘍(その他)	4.4	3.3	1.1	3.4	2.0	1.3																
24050070	脳脊髄液減少	2.2	1.9	0.3	3.1	2.4	0.7																
26130090	悪性(その他)	4.1	0.8	3.3	2.9	1.8	1.3	12.5	12.5														
28180010	その他の悪性腫瘍	3.8	2.8	0.8	2.8	2.2	0.4																
27010050	脳腫瘍	1.4	1.1	0.3	2.4	2.2	0.3																
29110200	脳脊髄液減少	3.9	2.8	1.1	2.3	1.9	0.4																
29161080	脳脊髄液減少	3.9	3.9	2.2	0.2	2.1																	
30050130	脳脊髄液減少	2.5	1.7	0.8	1.8	1.3	0.5	2.4	2.4														

↑ 当該施設・DPC6桁分類の副傷病

- 医療資源を最も投入した病名以外の病名(資源2、併存、続発)をDPC6桁コードして利用
- 副傷病の頻度・割合を提示
 - ↑
 - 比較のための参照値として全施設平均を提示
 - 施設配布版では、副傷病で報告されたDPC6桁分類へのリンク有り
 - 複数DPC6間での選択状況(アップコーディング?)が確認できる